

入間市上下水道審議会会議録

会 議 の 名 称	入間市上下水道審議会 （令和３年度第４回）
開 催 日 時	令和３年１１月１８日（木）午後１時３０分開会・午後３時１５分閉会
開 催 場 所	入間市役所４階 大会議室
議 長 氏 名	会長 森谷 秀一
出 席 委 員	福島和弘、鈴木喜弘、小野寺貴郎、野田康弘、小川晋、大野忠宏、山下昇治、森美代、田中智義、松下操、菊池繁子、相葉学、手島吉紀
欠 席 委 員	池上公子
傍 聴 人	なし
出 席 職 員	上下水道部 岩田上下水道部長、忽滑谷上下水道部次長 上下水道経営課 豊泉参事兼課長、石井主幹、中村副主幹、永井主任、橋本主事補 上下水道給排水課 平塚課長、工藤主幹、手塚副主幹 上下水道整備課 黒田課長、原島主幹 上下水道管理課 矢須課長、矢尾主幹、野村副主幹
会 議 次 第	1 開 会 2 委嘱状の交付 3 市長あいさつ 4 委員の自己紹介 5 上下水道部職員の紹介 6 正・副会長の選出 7 正・副会長あいさつ 8 報告事項 ア 上下水道審議会の運営等について イ 入間市水道事業の概要について ウ 入間市下水道事業の概要について 9 その他 10 閉 会

配 布 資 料	・ 令和３年度第４回入間市上下水道審議会会議次第 ・ 入間市上下水道審議会条例（資料１） ・ 入間市上下水道審議会委員名簿（資料２） ・ 入間市上下水道審議会について（資料３） ・ 入間市水道事業の概要（資料４） ・ 入間市下水道事業の概要（資料５） ・ 入間市新水道ビジョン（冊子） ・ 入間市新水道ビジョン 投資・財政計画 中間評価・見直し ・ 入間市新水道ビジョン 進捗管理評価シート ・ 入間市下水道事業中長期経営計画（冊子） ・ 入間市下水道事業中長期経営計画 中間評価・見直し ・ 入間市下水道事業中長期経営計画 進捗管理評価シート
会議録作成方法	要点筆記

発 言 者	会議の進行・発言内容
森 谷 会 長	それでは、私のほうで議事を進行させていただきます。 議題に入ります前に、上下水道審議会の会議の公開についてお諮りいたします。 当審議会においては、個人情報等を含まない案件であれば、非公開にすべき案件はございませんので、公開会議としたいと思いますが、よろしいでしょうか。
委 員 一 同	異議なし。
森 谷 会 長	特に異議がないようなので、上下水道審議会については、原則公開で進めさせていただきます。 それでは、報告事項に移ります。 報告事項アの「上下水道審議会の運営等について」を説明願います。
豊 泉 参 事	入間市上下水道審議会条例（資料１）、入間市上下水道審議会について（資料

小 野 寺 委 員	3) について説明。 会議の運営について確認をさせていただきたい。 市長の挨拶でもコロナの関係について触れていたが、コロナが蔓延しているときの会議の開催方法について確認をしたい。条例によると招集会議となっているが、これは書面会議などいろいろな手段で開催する可能性もあるということか。
豊 泉 参 事	令和3年度上半期にもありましたが、コロナの感染が拡大した場合には、書面開催という方法で開催することもあります。
森 谷 会 長	他にございませんか。 他にご意見がないようですので、報告事項アの「上下水道審議会の運営等について」を終わります。 続いて、報告事項イの「入間市水道事業の概要について」説明をお願いします。
石 井 主 幹	入間市水道事業の概要（資料4）について説明。
田 中 委 員	今の説明で大体わかったが、県水の送水管の耐震化はどのような状況か。終わっているのか。
鈴 木 委 員	私の方から県の状況についてお答えをさせていただきます。 埼玉県で所掌しております水道管は777kmほどございます。耐震については、いわゆる耐震管と呼ばれる離脱防止機能のあるものと、構造上は抜ける可能性はあるが、地盤の良いところに埋設をされているため抜けないだろうとされている耐震適合管と呼ばれるものがあります。 埼玉県の管のうち、耐震管については41%、距離にして315km、耐震適合管を含めると514km、66%ということになっております。状況は以上のとおりでございます。
田 中 委 員	例えば、大きな災害が起きたときに市内の給水管の耐震化というのは市の役目だが、県水に関してはさほど心配していないということか。市の方だけしっかりやれば良いのか。
鈴 木 委 員	埼玉県企業局の水道事業は用水供給事業者という立場であり、水道事業自体は原則市町村が実施主体となっています。したがって、県は市や町の浄水場や

	配水場に県水をお届けする立場になっており、先ほど入間市の説明にもありましたが、県の水道管についても耐震化が完了しているとは言えない状況でございます。なので、お互い補完するような対応をしていきたい。また、もし災害があった場合は県の浄水場で送れるところから水を送ったり、給水車を使ったり、また細かい話にはなりますが、非常用給水栓というものを市や町の水道事業者にお配りしております。これは、県の水道管の途中に空気を抜くための空気弁というものがあり、そこから水を取り出して水道の蛇口をつけられる構造のものです。そういったものを活用して対応するなど考えています。いずれにしても災害はニュースでも騒がれていますが、そういうときに市、県が連携をとっていかに早急な復興、復旧ができるかというところが大切だと考えております。
大 野 委 員	資料４の１ページの入間市の水源について、自己水と県水が２割、８割となっているが、なぜ自己水が２割なのか。浄水場の能力はどのくらいあるのか。また、２つの水を使い分けていると思うが、互いのコストについて教えていただきたい。
矢 須 課 長	１点目の自己水２０％、県水８０％の割合についてですが、鍵山浄水場が竣工したのが平成１９年３月になりますが、そのときに県と協議のうえ決定したものでございます。
大 野 委 員	鍵山浄水場の設備の能力に対して現在の浄水能力はどの程度なのか。
矢 須 課 長	水利権というものがございまして、毎秒０．１７４ｍ³、１日当たり約１万５，０００ｍ³汲めることになっております。能力的には鍵山浄水場で汲めなくはないのですが、現在は多くて１万ｍ³を汲んでいる状況になっております。
森 谷 会 長	２点目の県水と自己水のコストについて教えてください。
石 井 主 幹	県水に関しましては１ｍ³あたり６１．７８円と単価が決まっており、鍵山浄水場で作っている自己水につきましては、令和４年度の実施計画作成時に試算したところ７０円ほどで、同じコストをかけた場合、１日当たり１万１００ｍ³くらい作れば県水と同じ単価になるという試算結果が出ております。 入間市は毎日約４万５，０００ｍ³水を使っていますが、２０％ということなので、９，０００ｍ³くらいを鍵山浄水場で賄い、それ以外を県水で賄っているという状況

森 谷 会 長	でございます。 他に意見、質問はありますか。 ないようなので、報告事項ウの「入間市下水道事業の概要について」説明をお願いいたします。
中 村 副 主 幹	入間市下水道事業の概要（資料５）について説明。
田 中 委 員	有収水量の数値を上げるために雨水の浸入を防ぐということだが、雨水に関しては霞川や、入間川、不老川に流れていくと思うが、資料５の「2. 下水道の役割」の役割 2. 街を浸水から守るというところで、雨水に関しても下水管に流れるような文脈になっている。雨水と汚水が一緒に流れるのであれば、役割 2 は合っていると思うが、汚水だけを集めて雨水は入らないようにするというのが基本的な考え方だとすると、役割 2 はおかしいのではないか。
中 村 副 主 幹	一般的な下水道の役割ということでご説明をさせていただきました。入間市は分流式となっており、このイラストのように合流しないようになっておりますので、イラストが不適切でありました。今後、資料作成においては気をつけます。
手 島 委 員	資料５のスライド番号 5 を見ると雨水と汚水両方の計画を立てている。もともと分流式で雨水と汚水の管路を分けて作るということだと思うが、雨水管の整備率が 36.4%と低いのはどういうことなのか。
黒 田 課 長	分流式ということで入間市は汚水と雨水を分けて排水をしているという状況です。汚水管の整備率は資料５のスライド番号 5 に示されているように 97.7%となっていますが、雨水管は 36.4%となっています。雨水管の吐け口は河川になりますので、河川整備が進まないとどうしても雨水管が整備できないという状況になっております。
手 島 委 員	先ほど資料５のスライド番号 2 の役割 2 を外すというようなこと言っていたが、この役割 2 はこれから非常に大事なことになってくる。今の話だと、雨水をとりあえず棚に置いておくとか聞こえるが、そういうことでよいのか。
黒 田 課 長	雨水対策につきましては、雨水が道路に流れ、それを雨水管が受けて最終的に河川に流れるという仕組みになっています。先ほど不明水の話が出ましたが、不明水は地下水などが汚水管の中に浸入して流れるものであり、地下水が汚水

	管の中に浸入して汚水量が増量してしまうというものです。 雨水の整備が終わっている場所は主に区画整理事業を行っている地域などで、ある程度雨水の整備はできています。そういうところでは雨量によって直接川に雨水を流さないように調整池を造り、流出抑制して貯留して河川に流すという形になっています。入間市の場合は、雨水の整備がなかなか進んでいないことは先ほどお話ししましたが、公共下水道として上下水道部が管理しているものと、公共下水道以外の雨水管として都市整備部で管理している管もございます。一元管理ができていないというのがありますが、いずれにしても流出抑制をしたうえで河川に放流しています。河川の受け皿が広がらないとなかなか雨水が流せないというのが現状でございます。
森 谷 会 長	他にございませんか。 他にないようなので「8 報告事項」を終わりといたします。 次に「9 その他」に移ります。事務局から何か報告等はございますか。
石 井 主 幹	特にお知らせや報告ではありませんが、先ほど審議会は年 2 回とお伝えしました。次回は通常の年であれば 3 月の中旬から下旬に行うところですが、今回審議会のメンバーが 15 人中 9 人替わられておりますので、可能であれば水道や下水道に関する施設を見学する機会を設けたいと思っております。こちらについてはコロナや各施設の状況で、必ず実施できるかどうかはここで明言はできませんが、そのようなことを計画しております。
森 谷 会 長	今、豊岡配水場の横で配水管の布設替工事をやっている。ああいうものを見せていただくと参考になるかと思う。
大 野 委 員	漏水の件なのだが、なかなか自分では判断しにくいのでどのようなことに気を付ければよいかアドバイスをいただきたい。
平 塚 課 長	メーターから宅内側の漏水については、家中の給水栓を止めてもらい、メーターのコマが動いているようであれば宅内のどこかで漏水が起きています。ただし、メーターから道路側の漏水に関しては、上下水道管理課で対応をしています。その場合はコマの動きではわかりませんが、道路に水が出てきてしまっているというところなどからで発見できます。
大 野 委 員	微量の漏水でもコマは動くのか。トイレ等の宅内での漏水は自分で判断する

	しかないか。
平 塚 課 長	コマは動きます。床が濡れているなどで発見していただきたい。
鈴 木 委 員	初めに事務局から審議会の運営について説明があったが、本来であれば今回の審議の内容は資料３のとおり決算報告及び「入間市新水道ビジョン」・「入間市下水道事業中長期経営計画」における進捗・評価である。せっかく水道ビジョンや中長期経営計画が送られてきているのにもかかわらず、内容の説明がない。また、委員の任期が２年であるのに審議内容が単年度のものであり、２年間を通した審議会のあり方や進め方が見えてこない。
相 葉 副 会 長	資料１の審議会条例には「市長の諮問に応じて、上下水道事業に関する必要な事項について調査審議し、これらの事項について答申する。」とあるが、諮問答申する事項はあるのか。
石 井 主 幹	まず、鈴木委員の質問について回答しますが、以前の審議会においても１つテーマを決めて審議しないのかという意見はいただいています。年２回という審議会の回数からして、あまり大きなテーマは扱えませんが、今回そういったご意見が多ければ、通常の審議内容に加え、あるテーマについて審議する時間を設けることも可能です。
森 谷 会 長	せっかく水道ビジョンや中長期経営計画の冊子等が送られてきているので、説明の機会について検討いただきたい。
岩 田 部 長	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の資料配布については、説明が足りずに分かりにくいものとなってしまったことをお詫び申し上げます。 今回、委員の改選があり、委員の構成についても見直しました。資料については、今後審議会で使用する「入間市新水道ビジョン」・「入間市下水道事業中長期経営計画」も含め送付をさせていただきました。審議内容については初めての方が多くいらっしゃるので、水道・下水道とはどういうものかを知っていただくために今回このような報告とさせていただきました。鈴木委員からいただいたご意見については、３月の審議会にて新水道ビジョン・中長期経営計画を踏まえて令和４年度当初予算の説明をさせていただきます。そして、決算報告の時点で計画値と実績値の違いについてしっかりと説明をさせていただきます。

	す。 また、前回までの審議会で両計画の見直しを行いました。当初の計画では令和5年度に水道料金・下水道使用料を10%値上げするとありますが、見直し後の計画では、過去の実績や今後の見通しを立てたうえで令和8年度までは水道料金・下水道使用料の改定は行わないこととしています。今後は、決算時点で水道料金・下水道使用料の改定の必要性も含め、両計画をしっかりと検証してまいりますのでご協力をお願いします。今回の報告は新水道ビジョン・中長期経営計画の内容とは逸れてしまいましたが、各委員からは様々な視点でご意見やアドバイスをいただきたいと思います。
鈴木委員	2ヵ年でいつ何をするのかというのがわかると、委員としても何をどう考えればよいか、計画を立てやすい。 埼玉県は水道と下水道が別部局でそれぞれ独立採算で行っており、同じようにビジョンや計画があるが、知識経験者の意見をいただきながらローリングを行って進めている。なので、本当は2年間の中でなんらかの諮問答申を行った方がよいのではないかと。そういうところも含めて今後に期待する。
小野寺委員	私も審議会の運営に携わったことがあり、また、他市の審議会にも参加させていただいている。諮問事項が無くても委員へ情報を報告する機会もあるので、個人的には委員が変わったタイミングで基礎知識を説明していただけたのだと理解している。ただし、鈴木委員のご指摘のとおり、次回も報告で終わってしまうということを踏まえると、何かしらのチェック機関として活用していただくことも検討いただきたい。
石井主幹	相葉副会長からの質問に対してですが、今回諮問はありませんので、答申が最終目標ではございません。新水道ビジョン・中長期経営計画に沿って事業が進められているかどうかを審議いただくことが主な内容となっています。通常、審議会は諮問に対する答申を行うことが役割だとは思いますが、上下水道審議会については、これまでも両計画の進捗や決算・予算の報告について審議していただいております。
松下委員	草むしりの最中、側溝に土が詰まっていたが、取り除いた方がよいのか。
黒田課長	側溝に泥などが詰まると、それが原因で道路が冠水したりするので清掃作業

手 島 委 員	は必要かと思います。基本的に道路の側溝は道路管理者が清掃等を行っている ので、お気づきの点があればお知らせください。 前回までの審議会で料金の値上げをしないという結果にはなったが、またい ずれ値上げを検討するかと思う。市民としては、なぜこんなにもコストがかか るのか、なぜ料金が上がってしまうのか理解ができない。いろいろな面でコス トがかかるのは分かるので、それをしっかり説明していただける場を設けてい ただきたい。
岩 田 部 長	後期 5 年の計画見直し時に、経費削減策を示さなければ承認できないといっ た意見をいただいています。経費削減の一つとして自己水と県水の割合につい ては内部で検証してから県へ相談をしていきたいと考えています。また、他の 経費についても検証したいと考えているので審議会でしっかり説明し、様々な 角度から委員のご意見をいただきたいと思います。ある経費に焦点をあてたか たちで意見をいただくか、水道ビジョン・中長期経営計画を検証していく中で 意見をいただくか、現時点では決まっていますが、説明・協議の場を設けて まいります。
小 川 委 員	先日も夜間に漏水があり、上下水道部の迅速な対応で漏水修理を行うことが できた。漏水はいつ起こるか分からない。上下水道部は一生懸命対応をされて いるので、温かい目で見してほしい。
森 谷 会 長	以上をもちまして、本日の日程はすべて終了いたしました。 それでは、閉会の言葉を副会長からお願いします。
相 葉 副 会 長	これにて、本審議会を閉会いたします。 本日はお疲れさまでした。
議事のとん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためにここに署名する。 令和 3 年 12 月 15 日 入間市上下水道審議会会長 <u>森 谷 香 一</u>	